

平成28年2月19日

上越市長 村山 秀幸 様

直江津区地域協議会
会長 増田 和昭

新水族博物館を活用した直江津のまちづくりの取組について（意見書）

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、直江津まちづくり構想として、新水族博物館を活用した直江津のまちづくりの取組について審議した結果、下記のとおり意見がまとまりましたので提出いたします。

記

直江津の海・上越の海のシンボルとして親しまれている水族博物館が、新水族博物館として平成30年4月に開館が予定され、直江津区の地域住民は、まちの活性化のまたとない機会として期待を寄せております。

当協議会は、これまで直江津区のまちづくりについて、直江津が抱える様々な課題を検討するなかで、平成27年度は、新水族博物館を活用した直江津のまちづくりの取組について審議してまいりました。検討に当たっては、地域住民等との3回の意見交換を経て、取組項目を短・中・長期の実施期間ごとに分類し、まずは、市が主体となって平成28年度から取り組んでいただきたい項目を最優先に検討し、意見をまとめました。

つきましては、直江津区の活性化を図るための取組について、以下のとおり提案いたしますので、実現に向けた取組の推進をお願いいたします。（取組の目的及び現状（課題）は、別紙1のとおり）

また、市からの回答は不要ですが、配慮していただきたい取組についても付記いたしましたので、施策の参考としてください。（別紙2のとおり）

なお、直江津区の活性化については、当然、地域住民の動きが必要であり、今後、「地域を元気にするために必要な提案事業」に向けて、中・長期の取組も含めて検討してまいりますので、引き続きお力添えをお願いいたします。

【提案する取組項目】

I 来訪者の利便性とおもてなし

1 トイレの案内看板設置について

- (1) 海浜公園のトイレの存在が分かるよう案内表示等を設置する。
- (2) 公の施設のトイレの存在が分かるよう看板や案内マップに表示する。
また、観光施設への多目的トイレの整備を進める。

2 水族博物館への誘導看板について

- (1) 水族博物館の認知と場所を分かりやすく誘導するため、既設の魚・ペンギン等の写真が入った誘導看板を増設する。（例：御幸町や塩浜町地内）
また、誘導看板には、水族博物館までの距離表示を追加する。

3 まちなか・名所・旧跡への誘導について

- (1) 駅前の観光案内看板に名所旧跡等までの距離を表示する。

4 お休み処の整備・充実

- (1) 公の施設及び協力いただける個人や商店に呼び掛けて、椅子、テーブルは市で準備して、簡易なお休み処（特に公共施設は、赤ちゃんの授乳やオムツ替えができるスペースを設ける）をつくる。
また、駅前観光案内所に無料休憩所を併設する。（設置場所が分かるように大きな案内表示をする。）

*下記Ⅲの4「駅前観光案内所の整備」に同提案を記載

Ⅱ 渋滞緩和・安全対策

1 渋滞緩和・安全対策について

- (1) 直江津中等教育学校前から西本町三丁目交差点までの道路を拡幅する。
また、直江津中等教育学校前の横断歩道に既設の信号機と連動した手押し信号機を設置するか、若しくは、校門前の横断歩道をなくし、北側の信号機のある横断歩道を利用する。
- (2) 西本町三丁目交差点北東の公園（市有地）を利用して道路拡幅及び歩道を整備する。

2 駐車場について

- (1) 渋滞緩和と直江津の街中への回遊を促すため、駅前や街中の民間の駐車場を活用するなど、街中の駐車場を確保する。（駐車場利用を促すため、例えば、水族博物館入場の半券で駐車料金の割引など工夫する）
- (2) パークアンドライド方式として、休日には、春日山駅周辺の市職員駐車場を活用し、春日山駅～直江津駅を利用することで直江津の街中への回遊を促す。

Ⅲ 直江津区のPR

1 インターネットの活用

- (1) 上越市のホームページに、マップ情報（駐車場案内、名所旧跡・水族博物館への距離等の道案内、飲食店・お土産店への案内、トイレ案内）を掲載すると共に、国分寺や明静院などの名所・旧跡へアクセスできるようにする。
また、PR動画を有効活用する。

2 土産物や旧所名跡等の積極的なPR

- (1) 「メイド・イン上越」のような直江津ならではの土産物や旧所名跡等のPRを積極的に行うため、上越妙高駅と春日山に直江津のPR看板を設置する。
また、春日山の天守跡に現在ある俯瞰図に、直江津を紹介する内容を盛り込む。
- (2) 直江津を市内外にPRするため、えちごトキメキ鉄道、北越急行、JR東日本、しなの鉄道等の各駅にポスターを掲出すると共に、電車内に中吊り広告を掲出する。

3 マップの作成

- (1) 新たな直江津案内マップの作成若しくは、既存の「上越物語」の内容の充実（簡易版の作成を含む）を図る。（掲載内容：駐車場、名所旧跡の距離、水族博物館への距離等の道案内、食べ物屋、お土産屋への案内、トイレ案内）

また、「上越物語」の簡易版を作成し、全戸配布や広報でPRする、民間の商業施設、店舗などにも市の予算で購入したラックを設置するなど、より広く周知することで、「上越物語」の市民の認知度を上げ、より積極的なマップの活用を促してPRを図る。

その他、各活動団体が作成しているマップを市で取りまとめ、必要な情報が得られる場所を設ける。

4 駅前観光案内所の整備

- (1) 駅前の観光案内所兼無料休憩所を設置する。（設置場所が分かるように大きな案内表示をする。）

*上記Ⅰの4「お休み処の整備・充実」に同提案を記載

なお、設置場所については、例えば、自由通路北側の元JR駅長室の一部を使用するなど、コンベンション協会等とも連携を図り、えちごトキめき鉄道に働きかける。

5 レンタサイクルの設置

- (1) 旧びゅうプラザ前に貸自転車を設置する。なお、設置場所については、えちごトキめき鉄道に働きかける。（自転車の運行にあたり、歩道に電柱があるなど、自転車が運行しにくいこともあり、歩道整備を行う場合は、電柱の移設や地中化も考える必要がある。）

区分大	区分中	取組項目	区分小	提案する取組の内容	取組の目的	現状(課題)	関係課
I	1	トイレの案内看板設置について	(1)	海浜公園のトイレの存在が分かるよう案内表示等を設置する。	市内外からの水族博物館来訪者へのサービスを充実させるため、お客様目線として、水族博物館隣の海浜公園内トイレの案内看板を設置する。	・海浜公園(タコ公園)のトイレが松林の中にあるため道路側からは分かりづらい。 ・地元直江津の人々でさえその存在に気が付かない。	都市整備課
			(2)	公の施設のトイレの存在が分かるよう看板や案内マップに表示する。また、観光施設への多目的トイレの整備を進める。	まちを訪れていただいたお客様やまち歩きの方に、道中歩きやすく利便性を図り、おもてなしの気持ちを伝えるためにも、トイレを提供する。	・公のトイレはいくつかあるが、案内表示が十分ではなく、数的にも不足している。 ・民間の方からのトイレ提供は、コンビニエンスストアくらいである。	観光振興課
	2	水族博物館への誘導看板について	(1)	水族博物館の認知と場所を分かりやすく誘導するため、既設の魚・ペンギン等の写真が入った誘導看板を増設する。(例:御幸町や塩浜町地内)なお、誘導看板には、水族博物館までの距離表示を追加する。	来訪客に水族博物館を知ってもらい、場所を分かりやすく、安全に誘導する。	・現在の誘導看板設置場所は、安国寺地内2か所、八幡地内1か所、駅前あけぼの2か所を確認したが少なく感じる。 ・看板には、水族博物館までの距離表示がない。	新水族博物館整備課
	3	まちなか・名所・旧跡への誘導について	(1)	駅前の観光案内看板に名所旧跡等までの距離を表示する。	直江津を知ってもらい、場所を分かりやすく、安全に誘導する。	看板には、名所旧跡等までの距離表示がない。	観光振興課
II	1	渋滞緩和・安全対策について	(1)	直江津中等教育学校前から西本町三丁目交差点までの道路を拡幅する。また、直江津中等教育学校前の横断歩道に既設の信号機と連動した手押し信号機を設置するか、若しくは、校門前の横断歩道をなくし、北側の信号機のある横断歩道を利用する。	歩行者の安全と渋滞緩和のため、直江津中等教育学校と向かいのグラウンドの間の横断歩道について考える。	・道路が狭く渋滞がある。 ・通学時間帯やグラウンド使用のため、生徒が横断する都度、車の流れがストップする。	新水族博物館整備課
			(2)	西本町三丁目交差点北東の公園(市有地)を利用して道路拡幅及び歩道を整備する。	来館者のスムーズな移動と安全のため	西本町3丁目の交差点は狭隘道路である。	新水族博物館整備課
II	2	駐車場について	(1)	渋滞緩和と直江津の街中への回遊を促すため、駅前や街中の民間の駐車場を活用するなど、街中の駐車場を確保する。(駐車場利用を促すため、例えば、水族博物館入場の半券で駐車料金の割引など工夫する)	水族博物館の駐車場だけでなく、街中に駐車場をいくつか設けて、水族博物館まで散策してもらう。商店の活性化、渋滞の解消にもつながる。	・街中の公共施設(レインボーセンター・学びの交流館)等の駐車場の駐車可能台数が足りていない。 ・駐車場への誘導看板の設置が必要である。 ・街中への回遊策として駅を利用してもらいたい。	産業振興課
			(2)	パークアンドライド方式として、休日には、春日山駅周辺の市職員駐車場を利活用し、春日山駅→直江津駅を利用することで直江津の街中への回遊を促す。	渋滞緩和と街中への回遊のため、パークアンドライド方式を採用する。		

区分大	区分中	取組項目	区分小	提案する取組の内容	取組の目的	現状(課題)	関係課
Ⅲ 直江津区 の P R	1	インターネットの活用	(1)	上越市のホームページに、マップ情報(駐車場案内、名所旧跡・水族博物館への距離等の道案内、飲食店・お土産店への案内、トイレ案内)を掲載すると共に、国分寺や明静院などの名所・旧跡へアクセスできるようにする。 また、PR動画を有効活用する。	水族博物館、直江津を知ってもらうことが第一であり、インターネットでの広報を行う。	公的の上越市のホームページでは情報が限定される。	観光振興課
	2	土産物や旧所名跡等の積極的なPR	(1)	「メイド・イン上越」のような直江津ならではの土産物や旧所名跡等のPRを積極的に行うため、上越妙高駅と春日山に直江津のPR看板を設置する。 また、春日山の天守跡に現在ある俯瞰図に、直江津を紹介する内容を盛り込む。	上越妙高駅と春日山での直江津のPR 直江津区として独自に上越妙高駅や春日山城跡への来訪者に、直江津の見どころや旧所名跡、イベント等を紹介する。	上越市外や上越市の他区(高田や春日山など)に来た人を誘導する取組が必要である。	観光振興課
			(2)	直江津を市内外にPRするため、えちごトキメキ鉄道、北越急行、JR東日本、しなの鉄道等の各駅にポスターを掲出すると共に、電車内に中吊り広告を掲出する。	鉄道会社での直江津のPR 直江津をPRする車内吊り広告を作成し、トキメキ鉄道や北越急行、JR東日本、しなの鉄道等の電車内に掲出する。	情報メディアやインターネットを有効活用する。	観光振興課
	3	マップの作成	(1)	新たな直江津案内マップの作成若しくは、既存の「上越物語」の内容の充実を図る。(掲載内容:駐車場、名所旧跡の距離、水族博物館への距離等の道案内、食べ物屋、お土産屋への案内、トイレ案内) また、「上越物語」の簡易版を作成し、全戸配布や広報でPRする、民間の商業施設、店舗などにも市の予算で購入したラックを設置するなど、より広く周知することで、「上越物語」の市民の認知度を上げ、より積極的なマップの活用を促してPRを図る。 その他、各活動団体が作成しているマップを市で取りまとめ、必要な情報が得られる場所を設ける。	水族博物館、直江津を知ってもらうことが第一である。	市が作成した公的なマップでは、掲載情報が不足する。	観光振興課
	4	駅前観光案内所の整備	(1)	駅前の観光案内所兼無料休憩所を設置する。(設置場所が分かるように大きな案内表示をする。) ※区分Ⅰの4「お休み処の整備・充実」に同提案を記載 また、設置場所については、例えば、自由通路北側の元JR駅長室の一部を使用するなど、コンベンション協会等とも連携を図り、えちごトキメキ鉄道に働きかける。	観光客の皆様へのサービスの充実が必要である。	現在の観光案内所の位置は大変分かりづらい。	観光振興課
5	レンタサイクルの設置	(1)	旧びゅうプラザ前に貸自転車を設置する。なお、設置場所については、えちごトキメキ鉄道に働きかける。(自転車の運行にあたり、歩道に電柱があるなど、自転車が運行しにくいこともあり、歩道整備を行う場合は、電柱の移設や地中化も考える必要がある。)	観光客の皆様へのサービスの充実が必要である。	数年前に「なおえつ茶屋」にあったが、PR不足や歩道に自転車が数台あり危険なため、取りやめた経緯がある。	観光振興課	

区分大	区分中	取組項目	区分小	配慮していただきたい取組の内容	取組の目的	現状(課題)	関係課
IV 配慮してほしい取組	1	PR策 SNS(フェイスブック等)の活用	(1)	フェイスブックを活用して直江津をPRする。 (直江津のおすすめスポットの紹介と写真を投稿してもらおう。フェイスブックは市民が自由に投稿するのに使い勝手がよく、その情報や写真をもとにフェイスブックを活用していない方にも情報提供ができるように直江津区ホームページを作成できる。可能であれば効果を上げる為に、投稿された写真コンテストの開催やその写真を用いた絵ハガキやカレンダーの制作をするなど活用し、投稿者に特典をつけることが望ましい。)	上越市への来訪者ならびに来訪のきっかけづくりと直江津の情報提供の場として、フェイスブックを活用した直江津のPRを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市外や上越市の他区(高田や春日山など)に来た人を誘導する取組が必要である。 ・上越市のホームページでは情報が限定される。 ・知らないうちに終わるイベントがある。 ・情報メディアやインターネットを有効活用する。 	観光振興課
	2	PR策 「直江津」単独の海水浴場のポスターをつくる(大判サイズ)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「直江津」単独の海水浴場のポスターをつくる。(大判サイズ) 例えば、谷浜とは客層が違う視点で考えたり、季節ごとのポスターを作ってはどうか。 また、海水浴場と一緒に海のまち直江津をアピールする。 ・直江津祇園祭のような市民団体等が作成したポスターをコンベンション協会で募集するなど、市外での観光PRに使用してはどうか。 	直江津としての海水浴場のポスターの作製する。	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市外や上越市の他区(高田や春日山など)に来た人を誘導する取組が必要である。 ・現在の海水浴場のポスターは直江津単独のものではなく、谷浜等と一緒に上越市全域を対象としたポスターである。 ・直江津へ来る目的は、海を求める人がたくさんいる。 ・情報メディアやインターネットを有効活用する。 	観光振興課
	3	環境整備(水族館周辺)	(1)	定期的な草刈を実施して環境や景観に配慮する。	来館者を気持ちよく迎えるため	水族館と屋台会館の間の歩道の緑地帯について、雑草とハマナスが伸び放題になる場合がある。	道路課
	4	周辺施設(直江津)の利活用	(1)	27年度試験的に実施した火力発電所堤防の釣り客への開放を28年度以降も継続・拡大する。	直江津の海を県内外にPRする。	直江津港での釣り場が少ない。	産業立地課
	5	店舗等にAEDを設置する	(1)	街中の店舗や各町内等へのAEDを設置する。 (AEDを備えた自動販売機などもあるので、その設置や既存の自動販売機からの置き換えの促進も有用である。)	観光客はもとより、住民に対しても有用なのは間違いないので、来訪者及び地域住民の安全・安心に配慮するため、地域にAEDを設置する。	交流人口の拡大を目指す上で、街中にトイレや休憩所の設置が望まれているが、まだまだ街中に身障者用トイレが少ないのと同様に、AEDも公共施設や大規模商業施設へは設置が進んでいるが、街中や町内単位ではまだ見かけない。	健康づくり推進課